

# リストバンド L の印刷方法

本書ではリストバンド L への印刷方法について説明します。プリンターの操作に関する詳細はプリンターに添付のマニュアル等を参照してください。

## 最新のプリンタードライバーを入手する

リストバンドLに印刷を行うには、「リストバンド用プリンタードライバー」のインストールが必要です。

**プリンタードライバーはNECコーポレートサイトに公開している最新版をダウンロードしてご使用ください。**

### <ダウンロード手順>

1. NECコーポレートサイトのラベルプリンタのページ(<https://jpn.nec.com/printer/label/>)にアクセスします。
2. 「ダウンロード」をクリックします。
3. 「プリンタドライバ」をクリックします。
4. 「4インチ幅」のカテゴリから、ご使用のMultiCoder 503L3Tシリーズの機種を選択し、「決定」をクリックします。
5. **MultiCoder 503L3 リストバンド用プリンタドライバ**の「詳細情報・ダウンロード」をクリックします。

推奨	6503	MultiCoder 503L3 リストバンド用プリンタドライバ	プリンタ
		詳細情報・ダウンロード	

6. モジュール一覧のzipファイルをクリックして、ダウンロードします。

### <インストール手順>

インストール方法は、モジュール一覧に掲載のあるインストール手順書(pdfファイル)を参照してください。

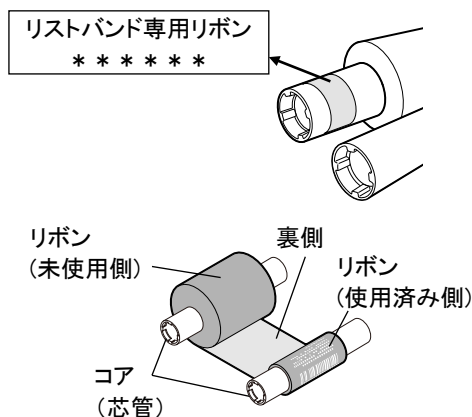
## 取り扱い上の注意

### ⚠ 注意

- ・トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくとおに下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- ・印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- ・左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。
- ・トップカバーを開けたときプリンター背面とトップカバーの間に指を挟まないように注意してください。
- ・インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。

### 🔑 重要

- ・ リストバンドLをカッターモジュールでカットすることはできません。カッターモデルやオプションのカッターモジュールでカットしないでください。リストバンドLがカッター部でつまったり、カッターモジュールを破損させたりするおそれがあります。
- ・ リストバンド専用リボンを使用することができます。それ以外のリボンを使用した場合は印刷品質の保証はできません。
- ・ リストバンド専用リボンにはラベルが貼ってあります。ラベルの貼られている場所は右図のとおりです。
- ・ リボンには裏と表（インク面）があります（右図を参照）。注意して取り付けてください。逆に取り付けて印刷すると、印刷できないばかりか、サーマルヘッドの交換（有償）が必要になる場合があります。
- ・ 途中まで使用したリボンの未使用側／使用済み側の見分け方は、右図を参照してください。新しいリボンの場合は、径の太い方が未使用側です。
- ・ 使用済みのリボンを廃棄するときは、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。
- ・ ホック（留め具）がはずれると乳児などの誤飲につながる恐れがあります。ホック（留め具）は同梱の「リストバンドLの取り付け方法」に従い「パチッ」と音がするまでメス側ホックを確実に押してください。
- ・ リボンを使用した後は、リボンに個人情報が残ります。お客様の判断において廃棄してください。リボンに残る印刷内容について、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。
- ・ プリンターを修理に出される際、必ずプリンターからリボンを取り外して修理に出してください。



### ✓ チェック

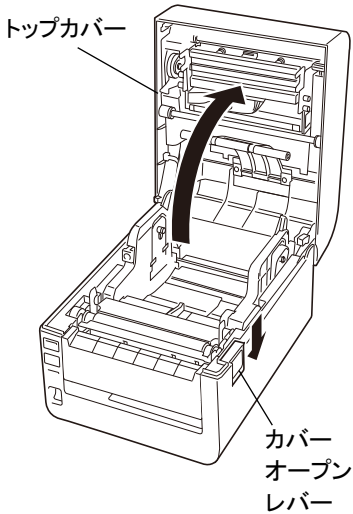
- ・ リボンからリストバンドに転写される面積が大きく、濃度が高い場合は、リボンが切れるおそれがあります。特にプリンタードライバーの[ネガイメージ]を選択して印刷する際はご注意ください。
- ・ ご使用になる前に「センサーしきい値を調整する」を参照してセンサーの感度調整を行ってください。



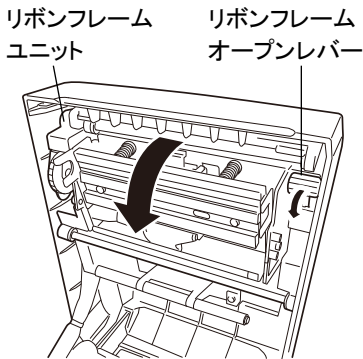
# リボンを取り付ける

① プリンターの電源スイッチを押して電源を ON にします。

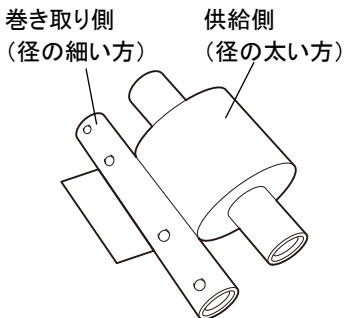
② カバーオープンレバーを押して、トップカバーを開きます。



③ リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。

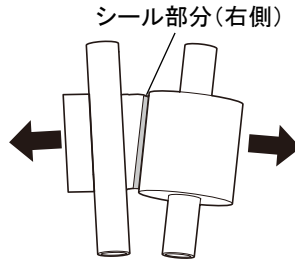


④ リボンを袋から取り出します。

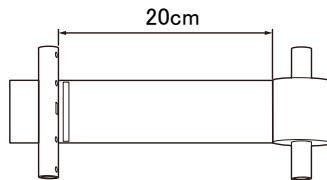


⑤ 両手で供給側のシール部分(右側)を離します。

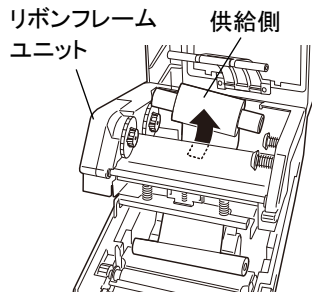
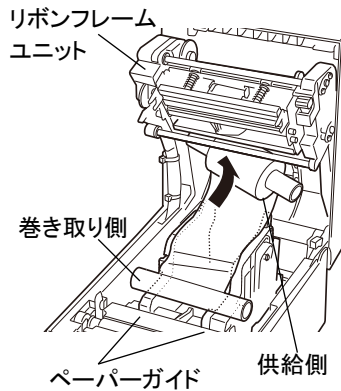
— **✓チェック** —  
巻き取り側のシール部分は離さないください



⑥ 透明な部分を 20cm 位広げます。

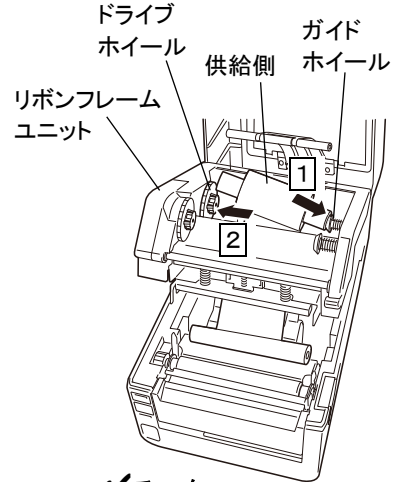


⑦ 巻き取り側をペーパーガイド手前の上に仮置きして、供給側のリボンをリボンフレームユニットの下にくぐらせます。



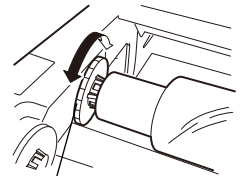
⑧ 右側のガイドホイールにリボンを取り付けます。

⑨ 左側のドライブホイールにリボンを取り付けます。



— **✓チェック** —

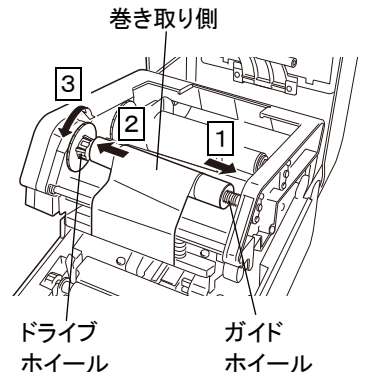
ドライブホイールに入れづらいときは前後に回しながら入れます。



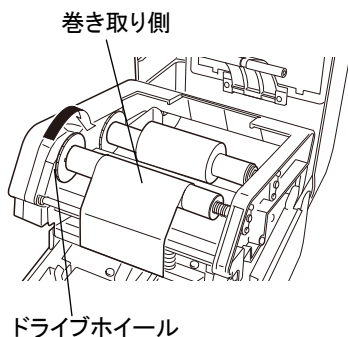
ドライブホイール

⑩ リボンの巻き取り側をガイドホイールに取り付けた後、ドライブホイールに取り付けます。

前述の「チェック」と同じようにドライブホイールに入れづらいときは前後に回しながら入れてください。



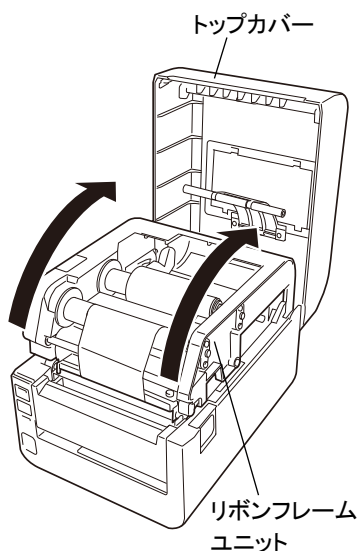
- ⑪ ドライブホイールをプリンター奥側へ回して印刷できる部分(黒い部分)までリボンを巻き取ります。



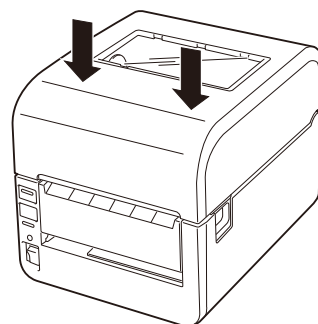
— ✓ チェック —

途中まで使用していたリボンを取り付ける場合は、たるみがなくなるまで巻き取ってから使用してください。

- ⑫ リボンフレームユニットをトップカバーにロックします。



- ⑬ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

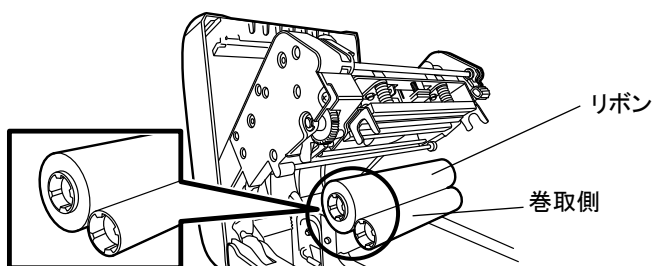
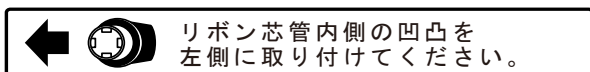


以上で完了です。

— ✓ チェック —

リボン取り付けには向きがあります。

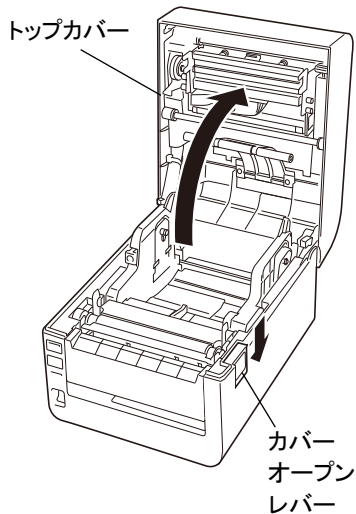
リボン芯管端部の凹凸がある方がプリンターの左側(ドライブホイール側)に取り付きますので、ご注意ください。ドライブホイールのそばにリボンの向きを説明するラベルがあります。途中からご使用するリボンにおいても、リボン芯管端部凹凸側がプリンターのドライブホイール側になります。



リボン芯管端部凹凸側が左側(ドライブホイール側)

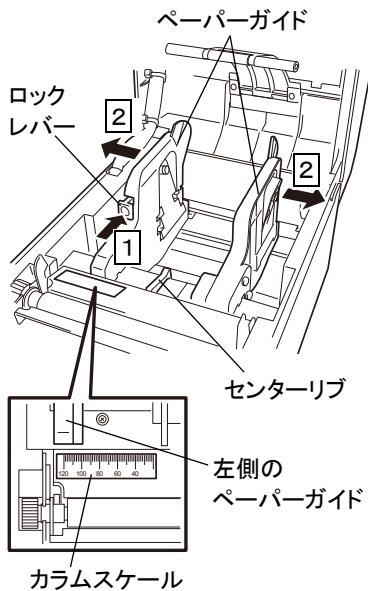
## リストバンド L をセットする

- ① プリンターの電源スイッチを押して電源を ON にします。
- ② カバーオープンレバーを押して、トップカバーを開きます。

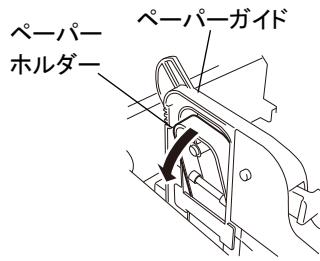


- ③ ロックレバーを押しながらペーパーガイドを広げます。

カラムスケールを参照して、左側のペーパーガイドの内側をセットするリストバンドの幅と同じ値のメモリに合わせます。左右のガイドは中央にあるセンターリブを基準に両側に伸縮します。



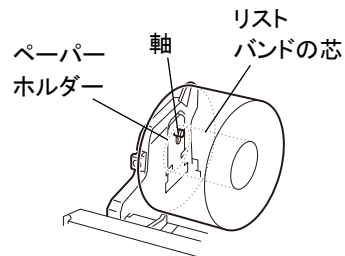
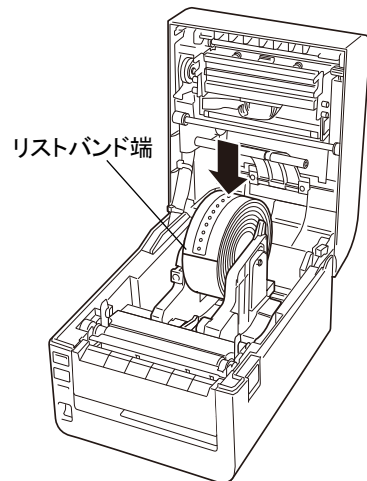
- **✓チェック** —
- 左右のペーパーガイドにあるペーパーホルダーを手で外側に倒します。



- ④ リストバンド端が手前側にくるようにしてリストバンドを持ちます。

- ⑤ リストバンドをそのまま垂直に下ろしてペーパーホルダーの軸がリストバンドの芯に入るようにセットします。

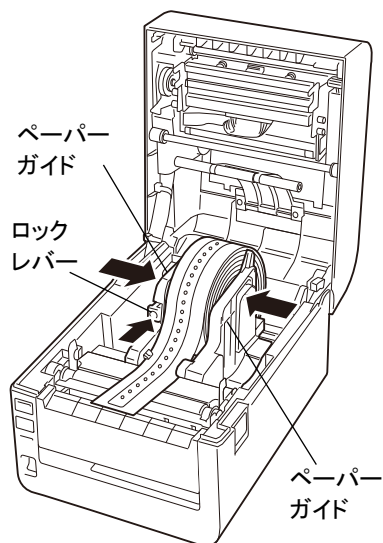
ペーパーホルダーが内側に格納されます。格納されなかったり、軸から外れたりした場合はもう一度やり直してください。



- **✓チェック** —
- <リストバンドのロール外径が小さい場合>

ロールの芯にペーパーホルダーの軸が入らない場合はペーパーホルダーを外側から押してセットしてください。

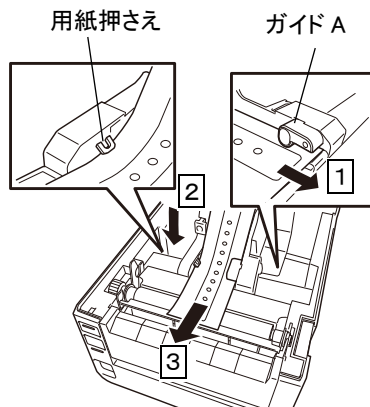
- ⑥ ロックレバーを押しながらペーパーガイド内側とリストバンドがぴったりと付くように幅を合わせます。



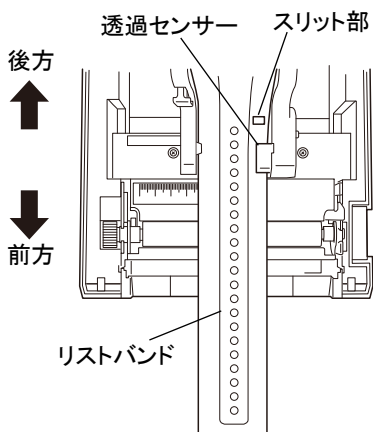
— ✓チェック

リストバンドが左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。  
離れている場合は付くまでやり直してください。

- ⑦ リストバンドをガイド A の下にぐらせた後 (1)、用紙押さえの上からリストバンドを押して (2)、用紙押さえの下にリストバンドが通るようにセットします (3)。



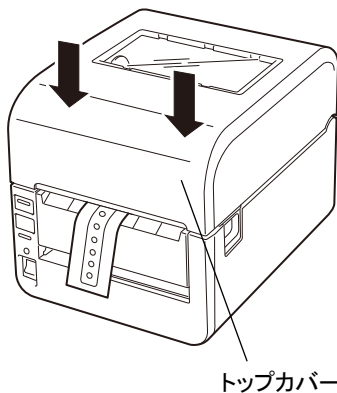
- ⑧ リストバンドのスリット部が透過センサーの位置より後方になるように位置を調整します。



— ✓チェック

- ・スリット部を透過センサーより前方へセットした場合は、1 枚損失します。
- ・リストバンドが左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

- ⑨ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



以上でリストバンド L のセットは完了です。

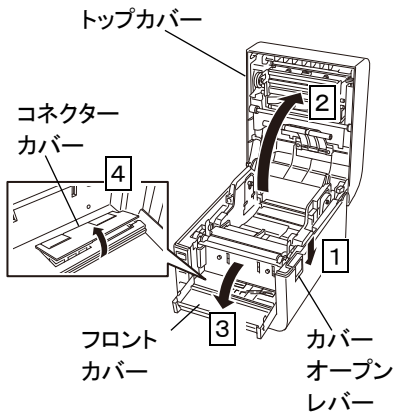
## センサーしきい値を調整する

リストバンドLに印刷する際、印刷位置を一定に保つために透過センサーを使用します。透過センサーによりリストバンドのスリット部でリストバンドの頭出し位置を検出します。

ここでは、使用するリストバンドLに合わせたセンサーしきい値を調整する手順を説明します。

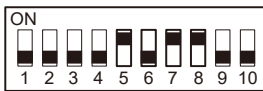
❶ プリンターの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

❷ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



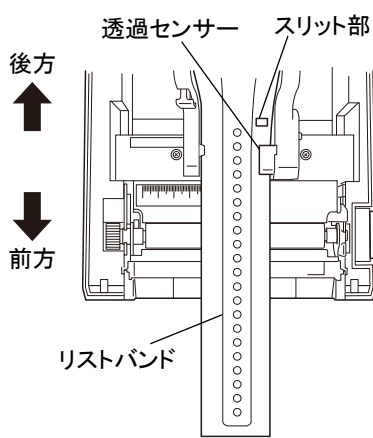
❸ DIP SW の設定を変更します。

DIP SW8 を ON にしてプリンタードライバーの設定を無効にします。  
DIP SW3 と 4 を OFF にして連続印刷に設定します。  
DIP SW5 を ON にして熱転写方式にします。  
DIP SW6 を OFF、DIP SW7 を ON にして透過センサーにします。



❹ リストバンドをセットします。

リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するよう調整してください。

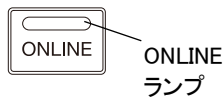


❺ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

❻ プリンターの電源スイッチを ON にします。

❼ ONLINE スイッチを押してプリンターをオフライン状態にします。

ONLINE ランプが消灯した状態です。



❽ ONLINE スイッチを押しながら FEED スイッチを 2 回押して調整します。

リストバンドがフィードされます。フィード中にしきい値が調整されます。



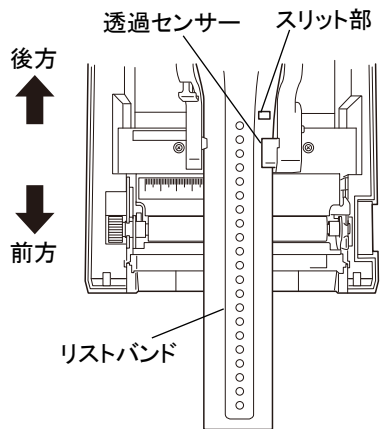
— ✓チェック —  
しきい値が設定できなかった場合は、7 セグ LED に を表示し、エラーランプが点滅します。

❾ フィードしたリストバンドを巻き取ります。

電源を ON にしたままトップカバーを開きます。その後、リストバンドを巻き取ります。

リストバンドを巻き取る際、スリット部が透過センサーの後方に位置するよう調整してください。

— ✓チェック —  
スリット部を透過センサーより前方へセットした場合は、1 枚損失します。



❿ プリンターの電源スイッチを OFF にします。

⓫ DIP SW の設定を印刷時の設定に戻します。

連続印刷をする場合の設定を 9 ページで説明しています。

⓬ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

以上で設定は完了です。



## 連続印刷でリストバンド L に印刷する

プリンタードライバーは、リストバンド L に印刷するための設定がすべて入力済みの「リストバンド用プリンタードライバー」を使用してください。

NECコーポレートサイトのラベルプリンタのページ (<https://jpn.nec.com/printer/label/>) からダウンロードできます。

リストバンド L はカッターモジュールでカットできません。カッターモデルやオプションのカッターモジュールでカットしないでください。リストバンド L がカッター部に入り込んだり、カッターモジュールを破損したりするおそれがあります。

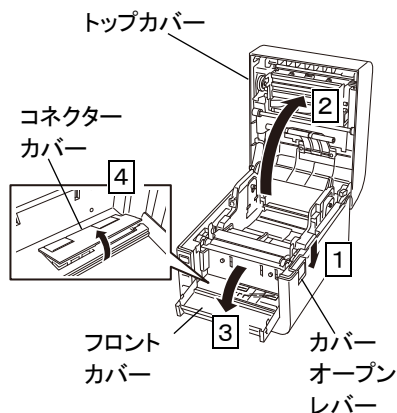
### — ✓ チェック —

プリンターを動作させる際は必ずリストバンド L をセットしてください。

「印刷モード」「印刷方式」および「センサー種別」について、プリンタードライバーの設定を有効にします。

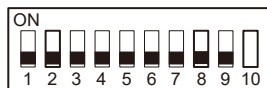
❶ プリンターの電源スイッチを OFF にします。

❷ カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



❸ DIP SW の設定を確認/変更します。

DIP SW8 を OFF にしてプリンタードライバーの設定を有効にします。DIP SW10 はお使いの環境に合わせて設定してください。



DIP SW10

OFF : インターフェースボード  
ON : USB インターフェース

❹ コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じます。

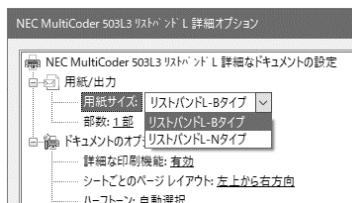
❺ プリンターの電源スイッチを ON にします。

❻ リストバンドをセットします。

リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するよう調整してください(7ページの手順③参照)。

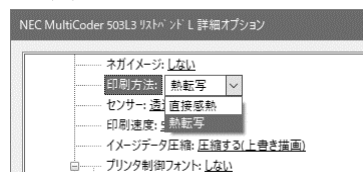
❼ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

❽ プリンタードライバーの[用紙サイズ]から使用するリストバンドを選択します。

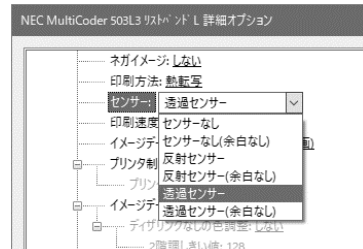


[リストバンド L-B タイプ]または [リストバンド L-N タイプ] のいずれかを選択してください。

❾ [印刷方式]を[熱転写]にします。

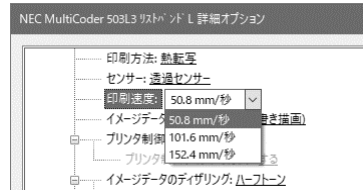


❿ [センサー]を[透過センサー]にします。

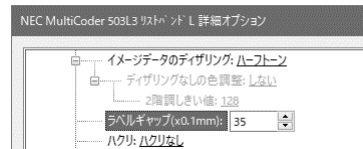


⓫ [印刷速度]を設定します。

推奨設定値は[50.8mm/秒]です。



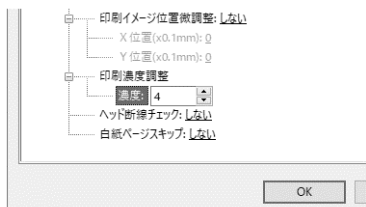
⓬ [ラベルギャップ]を[35] (3.5mm) に設定します。



- ⑬ 必要に応じて[印刷濃度]を設定します。

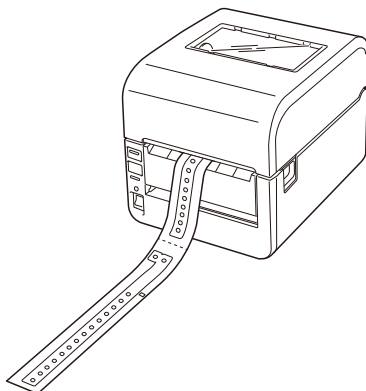
推奨設定値は「4」です。  
設定値はプリンタードライバーでの値と、リモートパネルでの値の合計値です。

＜プリンタードライバーでの設定画面＞



- ⑭ コンピューターから印刷を行います。

- ⑮ 印刷した後は、ミシン目に沿って切り取ってください。



## リストバンド L の印刷濃度の推奨設定

印刷濃度:「リストバンド L」と「リストバンド専用リボン」の組み合わせでの推奨設定は「4」です。

印刷濃度はプリンタードライバーで設定することができます(上記⑬)。

- ・ 上記推奨設定は目安であり、リストバンドの表面加工やご使用条件により一致しない場合があります。十分な試し印刷をして、その印刷結果により印刷濃度の微調整を行ってください。
- ・ 印刷結果がかすれる場合には印刷濃度を＋方向に、つぶれる場合には－方向に微調整を行ってください。
- ・ 印刷速度などの設定値や、印刷パターンの変更により印刷結果が変わることがありますので、そのような場合には再度印刷濃度の微調整を行ってください。